

風しんから赤ちゃんを守ろう



これまでに風しんの予防接種を受けていますか。
 予防接種の機会がなかった世代の成人男性を中心に、全国で風しんが流行しています。
 風しんは感染力が強く、妊娠中の人に移ると、赤ちゃんが難聴などの障がいをもって生まれてくる
 可能性があります。風しんを予防し、赤ちゃんを守るためにも、予防接種を受けましょう。

風しん注意報を 発令中

県が昨年5月14日から4月7日までに調査した結果、累計238人の風しんの患者の届け出がありました。特に昨年10月ごろから風しんの流行が始まり、急速に感染が拡大し、まだ平年より患者数が多い状態が続いています。これほどの流行は平成25年以来発生しておらず、国立感染症研究所から注意報も発信されています。

風しんは、別名「三日ばしか」ともいわれ軽症のイメージがありますが、特効薬はありません。せきやくしゃみなどによって移ります。感染力はインフルエンザよりも強く、2倍から4倍といわれ、予防のためにはワクチンの接種がとても有効です。

予防接種を受けていますか

予防接種の制度は、患者数や予防接種以外の有効な予防手段の有無、社会状況の変化に伴い何度も変更されています。このため、生年月日によって当時受けることができた予防接種の種類が異なっています。

風しんの抗体検査を受けましょう

風しんの予防接種を一度も受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性には、風しんに対する免疫の有無を調べる風しん抗体検査を無料で受けることができます。クーポン券があります。検査の結果、抗体が少ない場合は、予防接種も無料で受けることができます。

抗体検査は、血液検査で行われ、実施医療機関や職場で行われる特定健康診査などと一緒に行うことができます。これは令和4年3月31日(木)までの期間限定です。

県内の年齢、性別 風しん患者数

集計期間：平成30年5月14日～平成31年4月7日

年齢	男性(人)	女性(人)
0～9歳	2	2
10～19歳	12	8
20～29歳	30	18
30～39歳	35	15
40～49歳	68	7
50～59歳	31	4
60歳以上	3	3

ます。

まずは自分の母子健康手帳で接種しているかどうかを確認しましょう。母子健康手帳が手元のない人は、風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係の表を参考にしてください。

よく「母子健康手帳は、いつまで保存すればよいの」と質問を受けますが、予防接種の履歴を確認する方法は、現在は母子健康手帳しかありません。ぜひ、大切に保存してください。

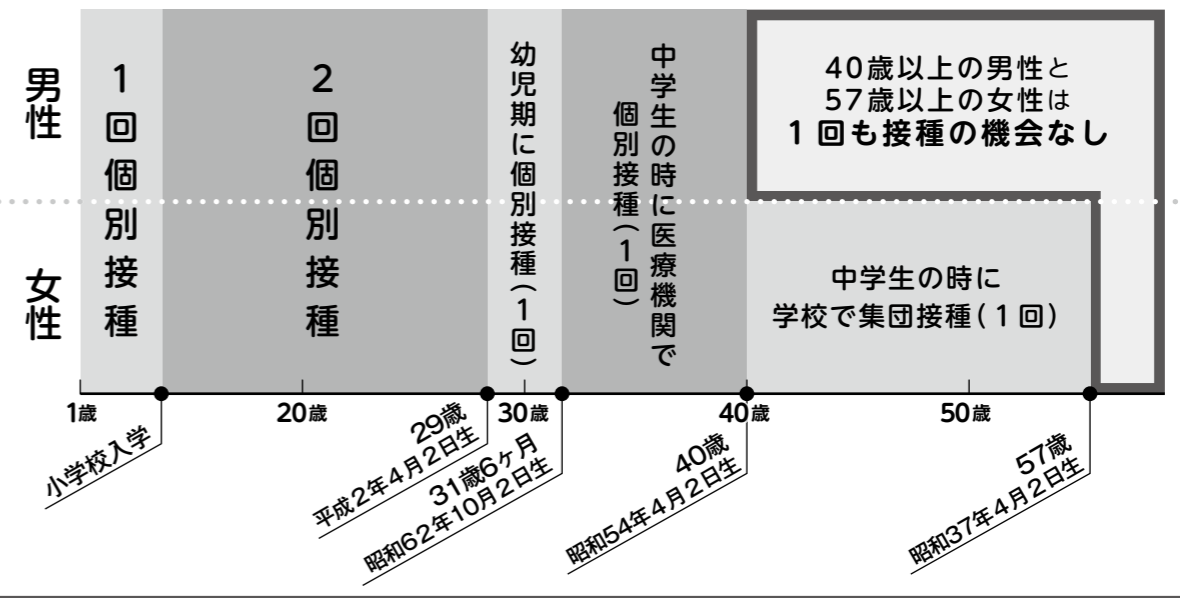
流行の中心は 40歳代の男性

県内の風しん患者のうち、年齢、性別で見ると40歳代の男性が68人と最も多く、全体の約30%を占めています。この世代の人は、風しん含有ワクチンの定期予防接種と年齢の関係から、1回も予防接種を受ける機会がなかった男性の年代と一致します。

風しんは、潜伏期間が2週間から3週間と長く、発しんが出る1週間前から、発しんが出た後1週間くらいまでは感染力があると考えられています。

風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係

※年齢は平成31年4月2日時点



市内の風しん抗体検査実施医療機関一覧

医療機関名	住所	電話番号
あいだ医院	東福間 3-4-3	42-3101
青野内科小児科医院	福間南 3-1-26	43-0131
明日花クリニック 福津在宅診療所	日蔭野 3-1-109	38-5577
池田内科クリニック	中央 3-10-1	42-8688
石田レディースクリニック	有弥の里 2-10-17	35-8080
上田医院	宮司 6-10-1	52-2823
勝浦クリニック	勝浦 3154-2	52-0830
こじまクリニック	津屋崎 3-16-20	52-0213
しば田クリニック	中央 3-9-1	43-5222
たけなかこどもクリニック	中央 6-22-33	42-0043
たなか泌尿器科皮膚科	花見が浜 1-4-3	42-5307
中島外科医院	宮司浜 3-26-31	52-1300
東福間病院	津丸 1164-3	43-1311
福津中央クリニック	日蔭野 5-17-1	51-7700
福津内科クリニック	中央 4-20-17	43-8282
古野内科・循環器科医院	西福間 2-5-23	34-9090
松岡内科医院	宮司 6-4-1	52-1302
まつなが小児科医院	宮司浜 3-22-24	52-4363
松野脳神経クリニック	光陽台 1-1-5	43-5055
宮城病院	日蔭野 5-12-2	43-7373
宗像水光会総合病院	日蔭野 5-7-1	34-3111
渡辺クリニック	若木台 1-12-2	42-0046

今年、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性にクーポン券を郵送します。検査を受けて、必要に応じて予防接種を受けることが、風しんから赤ちゃんを守るにつながります。

クーポン券の対象でない人は
 妊娠を希望する人や、妊娠中の人と同居している人など

は、抗体検査を1回に限り無料で受けることができます。実施医療機関に「福岡県風しん抗体検査」を受ける旨の電話予約を行い、住所が確認できる運転免許証などを持参してください。市内の実施医療機関は表のとおりです。

抗体が少ない場合は、予防接種の費用を4千円まで1回に限り助成しています。抗体

検査の結果を市役所へ持参し、風しん予防接種費用の助成を申請してください。

また、子どもの場合は1歳になったら、なるべく早く麻しん・風しん混合ワクチンを接種するようにしましょう。自己負担はありません。

受付、問い合わせ 市いきいき健康課保健指導係 ☎34・3353